

## 『調剤と情報』2012年1月号 訂正のお知らせ

ご購入いただきました「調剤と情報」2012年1月号の連載「新薬くろ～ずあっぷ 第130回」85頁の表2におきまして、誤りがございました。下記のとおり、訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

一般名(主な商品名)	警告	投与禁忌	併用禁忌
エスタロプラムシュウ酸塩 (レクサプロ)	なし		
塩酸セルトラリン (ジェイゾロフト)	なし		
パロキセチン塩酸塩水和物 (パキシル)	海外で7～18歳に有効性が確認できなかった、また、自殺に関するリスクが増加するとの報告もあるので、18歳未満に投与する際は慎重に検討すること	1. 過敏症の既往患者 2. MAO阻害剤投与中、投与中止後14日間以内患者 3. ピモジド投与患者	セレギリン(エフピー)、ピモジド(オーラップ)
フルボキサミンマレイン酸塩 (ルボックス、デプロメール)	なし	1. 過敏症の既往患者 2. MAO阻害剤投与中の患者 3. チオリダジン、ピモジド、チザニジン塩酸塩、ラメルテオンを投与中の患者	セレギリン、ピモジド、チザニジン(テルネリン)、ラメルテオン(ロゼレム)、チオリダジン(メレリル)

2012.1.5 株式会社じほう